

令和5年度 総合実習シラバス

科目	総合実習	年次	1	教科書	農業と環境	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版株式会社	前期38時間・後期38時間	

学習目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して農業に関する総合的な技術を習得し、農業経営と管理についての理解を深め、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 葉菜類（キャベツ、レタス類、ネギ類、葉ダイコン）の栽培。
2. 果菜類（ナス、ピーマン、トマト、トウモロコシ）の栽培。
3. 根菜類（大根、カブ）の栽培。
4. キク及び多年生植物の栽培。

授業について

1. 時間割内総合実習（各期19時間）と、時間割外総合実習（19時間）で1単位となります。
2. 前期1単位、後期1単位の計2単位の授業です。
3. 時間割外総合実習の内容は以下の通りです。
前期...夏季休業実習（19時間）
後期...秋季休業実習（3時間）、農業祭（12時間）、冬季休業実習（4時間）
4. 実習にふさわしい服装で参加しましょう。（危険防止、効果的な実習のために）
5. 植物は私たちと同じように生きています。手をかけなければ枯れて死んでしまいます。しかし、心を込めて手をかければ立派に成長してくれます。本授業を通して、農業の楽しさ、厳しさ、そして生命を育てる楽しさ、厳しさを実感してください。

評価について

- (1) 実習作品 (2) 授業態度（準備の様子・協力体制・清掃の様子）
(3) 授業以外の活動の態度 (4) 提出物（振り返りシート、レポート、実習記録簿）

以上の事項を総合的に判断し評価します。

評価は、「知識・技能（技術）」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」（3観点）をA：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する、で表します。さらに、3観点を次の割合で点数化し、5段階評価を行います。

評価の観点	知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比重	1	1	1

令和4年度 総合実習シラバス

科目	総合実習（草花）	年次	2	教科書	なし	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	なし	前期	38時間・後期

学習目標

草花を実際に栽培することによって、草花の発芽・開花・結実・繁殖に関する知識と管理技術を深めます。また、継続的な鉢物栽培・切花栽培・花壇栽培や園芸デザイン等の実践的な実習を通して、より深化した草花活用方法を身につけます。

主な学習内容

1. 観葉植物（ポトス、インベ、テーブルヤシ等）、多肉植物の栽培・活用。
2. 宿根草（ユリ科植物など）の栽培。
3. ラン科植物（デンファレ、紫蘭）の栽培・装飾活用。
4. 球根類（アマリリス、カラジウム等）の栽培・活用。
5. 花卉類（ブーゲンビリア、ツツジ、クロトン等）の栽培管理・装飾活用。
6. 1、2年草（マリゴールド、トレニア、パンジー、ビオラなど）の栽培。

授業について

1. 時間割内総合実習（各期19時間）と、時間割外総合実習（19時間）で1単位となります。
2. 前期1単位、後期1単位の計2単位の授業です。
3. 時間割外総合実習の内容は以下の通りです。
前期...夏季休業実習（19時間）
後期...秋季休業実習（3時間）、農業祭（12時間）、冬季休業実習（4時間）
4. 実習にふさわしい服装で参加しましょう。（危険防止、効果的な実習のために）
5. 植物は私たちと同じように生きています。手をかけなければ枯れて死んでしまいます。しかし、心を込めて手をかければ立派に成長してくれます。本授業を通して、農業の楽しさ、厳しさ、そして生命を育てる楽しさ、厳しさを実感してください。

定期考査・課題・提出物

学期	前 期	後 期
提出物	実習記録簿、観察記録、作品等	実習記録簿、観察記録、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	草花栽培に関心を持ち、自ら進んで実習に取り組んでいる。
思考・判断・表現	草花栽培や作品制作の手順、方法を工夫している。
技能	草花の特性にあった栽培管理、環境調節が出来る。 観葉植物の寄せ植え作り等により草花の特性を活かした作品制作が出来る。
知識・理解	草花の栽培技術、生育の環境要因に関する知識・理解がある。 草花の活用方法に関する知識・理解がある。

※ 評価の方法... 授業への積極的な参加（出席）、学習態度（意欲）、技能、実習記録簿の提出、作品等を総合的に評価し、成績とします。

令和5年度 「総合実習」 シラバス

科 目	総合実習（野菜）	年 次	2	教科書	野 菜	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

野菜を実際に栽培することによって、以下の知識・技術・態度を身につけます。

1. 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得する。
2. 野菜の特性や栽培に適した環境を理解する。
3. 生産性の向上を図る能力と態度を養う。

主な学習内容

1. 果菜類（ウリ類、ナス、ピーマン、トウモロコシ等）の栽培
2. 葉菜類（レタス類、キャベツ、ホウレンソウ、タマネギ、シソ、ネギ等）の栽培
3. 根菜類（ダイコン、ニンジン、ジャガイモ等）の栽培
4. 島野菜（ウリ類、葉菜類、ユリ科作物）・中国野菜（エンサイ、チンゲンサイ等）の栽培

授業について

1. 時間割内総合実習（各期19時間）と、時間割外総合実習（19時間）で1単位となります。
2. 前期1単位、後期1単位の計2単位の授業です。
3. 時間割外総合実習の内容は以下の通りです。
前期…夏季休業実習（19時間）
後期…秋季休業実習（3時間）、農業祭（12時間）、冬季休業実習（4時間）
4. 実習にふさわしい服装で参加しましょう。（危険防止、効果的な実習のために）
5. 植物は私たちと同じように生きています。手をかけなければ枯れて死んでしまいます。しかし、心を込めて手をかければ立派に成長してくれます。本授業を通して、農業の楽しさ、厳しさ、そして生命を育てる楽しさ、厳しさを実感してください。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
提 出 物	実習記録簿、観察記録等	実習記録簿、観察記録等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	・野菜栽培に関心を持ち、自ら進んで実習に取り組んでいる。
思考・判断・表現	・野菜栽培を、系統的・体系的に考えることができる。
技能	・学習で学んだことや身近な疑問、自ら発見したことをわかりやすく伝えることができる。
知識・理解	・野菜の栽培・経営に関する基礎的な知識・技術を習得し、実際の野菜生産に活用することができる。

※ 評価の方法… 定期テスト、学習態度、提出物等を総合的に評価し、成績とします。

令和5年度 「総合実習」 シラバス

科目	総合実習（野菜）	年次	3	教科書	野菜	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

野菜を実際に栽培することによって、以下の知識・技術・態度を身につけます。

1. 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得する。
2. 野菜の特性や栽培に適した環境を理解する。
3. 生産性の向上を図る能力と態度を養う。

主な学習内容

1. 果菜類（ウリ類、トマト、ナス、オクラ、ピーマン、トウモロコシ等）の栽培
2. 葉菜類（レタス類、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ等）の栽培
3. 根菜類（ダイコン、ニンジン、ジャガイモ等）の栽培
4. 島野菜（ウリ類、カラシナ、ユリ科植物）・中国野菜（エンサイ、チンゲンサイ等）の栽培

授業について

1. 時間割内総合実習（各期19時間）と、時間割外総合実習（19時間）で1単位となります。
2. 前期1単位、後期1単位の計2単位の授業です。
3. 時間割外総合実習の内容は以下の通りです。
前期…夏季休業実習（19時間）
後期…秋季休業実習（3時間）、農業祭（12時間）、冬季休業実習（4時間）
4. 実習にふさわしい服装で参加しましょう。（危険防止、効果的な実習のために）
5. 植物は私たちと同じように生きています。手をかけなければ枯れて死んでしまいます。しかし、心を込めて手をかければ立派に成長してくれます。本授業を通して、農業の楽しさ、厳しさ、そして生命を育てる楽しさ、厳しさを実感してください。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
提 出 物	実習記録簿、観察記録等	実習記録簿、観察記録等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	・野菜栽培に関心を持ち、自ら進んで実習に取り組んでいる。
思考・判断	・野菜栽培を、系統的・体系的に考えることができる。
技能	・学習で学んだことや身近な疑問、自ら発見したことをわかりやすく伝えることができる。
知識・理解	・野菜の栽培・経営に関する基礎的な知識・技術を習得し、実際の野菜生産に活用することができる。

※ 評価の方法… 定期テスト、学習態度、提出物等を総合的に評価し、成績とします。

令和5年度 総合実習シラバス

科目	総合実習（草花）	年次	3	教科書	なし	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	なし	前期38時間・後期38時間	

学習目標

草花を実際に栽培することによって、草花の発芽・開花・結実・繁殖に関する知識と管理技術を深めます。また、継続的な鉢物栽培・切花栽培・花壇栽培や園芸デザイン等の実践的な実習を通して、より深化した草花活用方法を身につけます。

主な学習内容

1. 観葉植物（ポトス、インペ、テーブルヤシ等）、多肉植物の栽培・活用。
2. 宿根草（ユリ科植物など）の栽培。
3. ラン科植物（デンファレ、紫蘭）の栽培・装飾活用。
4. 球根類（アマリリス、カラジウム等）の栽培・活用。
5. 花卉類（ブーゲンビリア、ツツジ、クロトン等）の栽培管理・装飾活用。
6. 1、2年草（マリゴールド、トレニア、パンジー、ビオラなど）の栽培。

授業について

1. 時間割内総合実習（各期19時間）と、時間割外総合実習（19時間）で1単位となります。
2. 前期1単位、後期1単位の計2単位の授業です。
3. 時間割外総合実習の内容は以下の通りです。
前期...夏季休業実習（19時間）
後期...秋季休業実習（3時間）、農業祭（12時間）、冬季休業実習（4時間）
4. 実習にふさわしい服装で参加しましょう。（危険防止、効果的な実習のために）
5. 植物は私たちと同じように生きています。手をかけなければ枯れて死んでしまいます。しかし、心を込めて手をかければ立派に成長してくれます。本授業を通して、農業の楽しさ、厳しさ、そして生命を育てる楽しさ、厳しさを実感してください。

定期考査・課題・提出物

学期	前 期	後 期
提出物	実習記録簿、観察記録、作品等	実習記録簿、観察記録、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	草花栽培に関心を持ち、自ら進んで実習に取り組んでいる。
思考・判断・表現	草花栽培や作品制作の手順、方法を工夫している。
技能	草花の特性にあった栽培管理、環境調節が出来る。 観葉植物の寄せ植え作り等により草花の特性を活かした作品制作が出来る。
知識・理解	草花の栽培技術、生育の環境要因に関する知識・理解がある。 草花の活用方法に関する知識・理解がある。

※ 評価の方法... 授業への積極的な参加（出席）、学習態度（意欲）、技能、実習記録簿の提出、作品等を総合的に評価し、成績とします。

令和5年度 生物活用シラバス

科目	生物活用	年次	4	教科書	生物活用	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

身近な暮らしの場における植物栽培や自然や環境の知識と活用技術を習得させ、園芸植物や生物教材を用いた交流活動とともに園芸療法・動物介在療法などの応用を理解させるとともに、生活の質の向上や健康の改善を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 園芸に活用と効果について理解する。
2. 草花の栽培と活用について理解する。
3. ハーブ類・多肉植物の機能・効用について理解する。

授業について

身近な植物教材（草花・ハーブ・多肉植物）などを用いて、園芸のもつ多様な効果について学習します。またその栽培方法と活用法について学ぶ。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
考 査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	1. 暮らしと園芸 2. 園芸作物の活用方法	1. 草花の特性と活用 2. 多肉植物、ハーブの特性と活用
提 出 物	授業毎のファイル、作品等	授業毎のファイル、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	学習用具の準備 授業への取組状況や態度 課題学習ファイル記録簿
思考・判断・表現	課題学習ファイル記録簿 レポートの提出 他人との協調性
技能	調べ学習 統計・インターネット
知識・理解	定期試験 豆試験 学習ノートの提出

※ 評価の方法... 授業への積極的な参加（出席）定期テスト（知識）、学習態度（意欲）、提出物等を総合的に評価し、成績とします。

令和5年度 総合実習シラバス

科目	総合実習（果樹）	年次	4	教科書	なし	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	なし	前期38時間・後期38時間	

学習目標

果樹生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や果実の生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 果樹類は種類や品種によって、異なった管理方法があることを知る。
2. 果樹園並びに鉢物作物における枝の生長、果実の収量、品質との関係を知る。
3. 優良品質の果実が得られるような整枝・剪定、施肥の方法、結実管理、病虫害の種類や防除法などの栽培管理技術を身につけるようにする。

授業について

果樹栽培の知識・技術を身につけるためには、実際に栽培しながら学習することが大切です。

そのために、アセロラ、ドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、柑橘類等の果樹作物を教材として栽培します。観察実験の記録を取り、科学的で実践的な知識・技術を身につけましょう。

定期考査・課題・提出物

学期	前期	後期
考査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	1. 果樹の種類と果実の利用 2. 果樹の生育と栽培環境 3. 果樹の栽培管理（前期教材作目）	1. 果樹園の土壌管理 2. 果樹の流通と経営改善 3. 草花の栽培管理技術（後期教材作目）
提出物	授業毎のファイル、作品等	授業毎のファイル、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	果樹の役割や果樹栽培に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	果樹栽培の課題を科学的に捉え、考察し、判断することができる。
技能	果樹の基礎的な栽培技術を身につけている。 果樹の特性を活かした展示装飾ができる。
知識・理解	果樹の栽培技術、生育の環境要因に関する知識・理解がある。 果樹の活用方法に関する知識・理解がある。

※ 評価の方法... 授業への参加（出席）、定期テスト、学習態度、提出物等を総合的に評価し、成績とします。